

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 八田小中學校
南アルプス市立 八田小学校



大望の鐘

【学校教育目標】 豊かな心を持ち かしく たくましい子どもの育成

令和4年11月1日 NO.8 校長 川口 祐子

芦安・八田・白根地区小学校「陸上記録会」に6年生が出場

10月18日(火)、芦安小、源小、飯野小、百田小、東小、八田小の6校による陸上記録会が、日世南アルプススタジアム(楕形総合公園陸上競技場)にて開催されました。

【トラックの部】



60mハードル



100m走



800m走



1000m走

【フィールドの部】



400mリレー



走り高跳び



走り幅跳び



ボール投げ

本校の6年生は、運動会が終わるとすぐに練習に取り掛かり、放課後は、八田中学校の陸上部の部員に、走り方などを教えてもらいました。一生懸命に練習した成果が出て、入賞者が多数出ました。1位を紹介します。

【走り幅跳び】 石川日向さん 渡邊 和さん 【走り高跳び】 梶山美夢さん

「八田地区教育を語る会」に5・6年生代表が参加

10月21日(金)、八田中学校の体育館で「八田地区教育を語る会」が開かれました。本校の5、6年生の代表児童が参加し、中学生、保護者、学校運営協議会委員の皆さんと一緒に望ましい「スマホのルール」について考えました。代表児童の皆さんは、大勢の前で自分の意見やグループの意見を発表しました。



6年生

愛媛県産真鯛についてのリモート学習

9月21日(水)、愛媛県の真鯛養殖業に携わっている漁協組合の職員の皆様と、zoom中継をして学びました。生きている魚と食卓の魚が結びついていない子供も多いと言われます。実際の真鯛と器に乗っている真鯛を見て、はっきりとつながった子供もいたと思います。また、養殖業での苦労やどのようにして真鯛を育てているかなどのお話も聞くことで、「1.食への感謝の気持ち生まれる」と思いました。愛媛県は、養殖魚類の生産量は日本一。なかでも真鯛は国内の50%以上を生産しているそうです。そんな愛媛県産真鯛を全校で給食の時間に味わって食べました。



食育…5つのポイントを学ぶ

1. 食への感謝の気持ち生まれる
2. 栄養のバランスを学べる
3. 食を通して社会性を育む
4. 食の安全について学ぶ
5. 伝統的な食文化を継承する



右上の写真は6年生の給食準備の様子、右の写真は給食時の中継の様子です。みんなと一緒に食事を配膳したり、片づけたり、今はコロナでできませんが楽しく会話しながら食べたりすることで、「3.食を通して社会性を育む」ことができると思っています。給食はその場でもあります。



左は、真鯛の給食のときのメニューです。よく見ると左上に「シャインマスカット」がデザートであります。「5.南アルプス市の伝統的な食文化(産業)」も一緒に登場したと感じました。

3年生 総合的な学習の時間「食べ物のひみつを教えます」

栄養教諭の福井先生から大豆のよさについて学習しました。その日の給食には、ゆば、豆腐など大豆の加工品が出ました。大豆はバランスのよい栄養食品です。「2.栄養のバランスを学ぶ」ことができたのではないのでしょうか。八田小学校はいつも残食が少ないと福井先生が、教えてくれ大変うれしく思いました。



大豆はかせになろう！ということで大豆へんしんマップを作ったり、給食の献立表から大豆製品を探したりしました。

1・2年生「生活科見学」3・4年生「社会科見学」の様子

山梨県立科学館 (1年)



オオムラサキセンター (2年)

南アルプス市消防本部 (3年)



石積出 (4年)

